

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 花尾 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

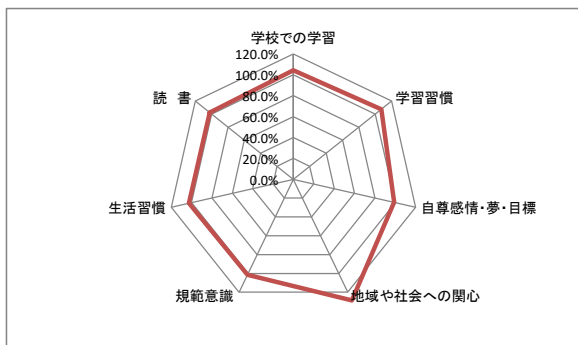
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> すべての問題で全国平均正答率を上回っている。 言語についての知識・理解・技能を問う問題で、漢字を書く問題の平均正答率が昨年に比べあがった。 	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて本や文章全体を概観して効率的に読む問題の正答率が高かった。 	
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題は正答率が低いですが、全国平均は上回っている。 	
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> すべての問題で全国平均正答率を上回っている。 昨年課題であった「数と計算」、「図形」領域も全国平均正答率を大きく上回っている。 	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	<ul style="list-style-type: none"> 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る問題の正答率が高かった。 	
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> 式の意味や図形の性質等を理解し、求め方の説明を記述する問題は正答率が低いですが、全国平均は上回っている。 	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
<ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習で、宿題だけでなく宿題以外の学習を自分で計画してする児童が増えたことは、「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用を学校全体で周知した成果と考える。 学校の授業時間以外で、「読書をする。」と答えた児童がとても多い。毎週月曜日の朝を全校一斉読書の時間にしている成果と考える。 	

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本の学力の定着を図るための放課後補充学習を週2回実施している。さらに今年度は、学力向上部会で放課後補充学習の決まりについて話し合い、それを全職員で周知し全校で統一した指導を行っている。 今後は個人差や学習内容によって定着に差がでないよう、個に応じた細やかな指導を行うことで、さらに学力の定着を図
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習チャレンジハンドブック」の回収日を毎月初めに設定し、子どもに呼びかけるだけでなく、学校だより・学年通信で知らせることで活用を定着させた。 今後も
--